

第140回 (令和7年2月) 情報処理技能検定試験(表計算) 4級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表を完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 試験時間は20分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

社員名	契約数	契約額
秋山 大地	47	3,654,000
土屋 順子	52	5,168,000
早川 ユウ	39	2,937,000
原 あやか	41	3,152,000
長谷川 実	48	4,123,000
川口 春美	37	2,865,000
石田 正行	51	4,301,000
中村 由香	43	3,395,000

<処理条件>

- <出力形式>のような総支給額一覧表を作成しなさい。
- 営業手当＝契約額×2.5%
特別手当＝320×契約数
総支給額＝営業手当＋特別手当
- 合計・平均（整数未満四捨五入の表示）を求めなさい。
- 罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）

<出力形式>

総 支 給 額 一 覧 表

社員名	契約数	契約額	営業手当	特別手当	総支給額
合 計					
平 均					

第140回 (令和7年2月) 情報処理技能検定試験(表計算) 3級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表を完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

CO	社員名	基本給	残業時間	査定値
101	神山 サキ	253,000	11	95
102	中原 大地	245,000	14	80
103	林 かおり	214,000	18	75
104	赤池 和馬	256,000	15	90
105	小野田 緑	208,000	12	65
106	早川 伸一	231,000	10	70
107	大西 愛子	229,000	13	85
108	島田 海人	217,000	17	60
109	玉田 冬美	249,000	19	55

<特別手当表>

査定値	特別手当
80 以下	4,900
それ以外	6,800

<処理条件>

- <出力形式1>のような社員別給料一覧表を作成しなさい。(――の部分は空白とする)
- 残業手当＝基本給÷160×1.25×残業時間(整数未満切り上げ)
- 特別手当は<特別手当表>を参照し、求めなさい。
総支給額＝基本給＋残業手当＋特別手当
- 合計を求めなさい。
- 構成比率＝総支給額÷総支給額の合計(%の小数第1位未満四捨五入の表示)
- 残業手当の降順に並べ替えなさい。
- <出力形式2>のような処理をしなさい。すべて¥表示とする。(平均は整数未満四捨五入の表示とする)
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)

<出力形式1>

社員別給料一覧表

CO	社員名	基本給	残業時間	残業手当	査定値	特別手当	総支給額	構成比率

(途中省略)

――	合 計				――			――

<出力形式2>

基本給の平均	
残業手当の平均	
総支給額の最小	

第140回 (令和7年2月) 情報処理技能検定試験(表計算) 準2級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

依ＣＯ	依頼先名	製ＣＯ	数量
101	大和田精工	11	570
102	西山工業	14	653
103	S K製作所	13	780
104	安藤電機	12	406
105	ナカオ製作	11	638
106	北陸電工	14	761
107	三信工業所	12	439
108	徳山工機	13	862

<製品テーブル>

製ＣＯ	製品名	製品原価
11	製品J	2,470
12	製品K	3,390
13	製品L	1,850
14	製品M	2,000

<加工賃率表>

製品原価	加工賃率
3,000 以上	⇒ 12.8%
2,000 以上 3,000 未満	⇒ 11.7%
2,000 未満	⇒ 10.6%

<処理条件>

- <出力形式1>のような加工賃支払額一覧表を作成しなさい。(――の部分空白とする)
- 製品名・製品原価は<製品テーブル>を表検索しなさい。
- 加工賃率は<加工賃率表>を参照し、求めなさい。(％の小数第1位までの表示とする)
加工単価＝製品原価×加工賃率(整数未満切り捨て)
加工賃＝加工単価×数量
諸経費＝加工賃×3.8%(整数未満切り上げ)
支払額＝加工賃＋諸経費
- 数量が780以上または支払額が19万以上に“**”、それ以外に“*”の評価をしなさい。
- 合計を求めなさい。
- 数量の降順に並べ替えなさい。
- 加工賃支払額一覧表の製品名のセル証明をしなさい。
- <出力形式2>のような処理をしなさい。(平均は整数未満四捨五入の表示とする)
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- 加工賃支払額一覧表の支払額の値を依頼先名別の横棒グラフにしなさい。
タイトルは“依頼先別の支払額”とし、凡例は“支払額”とする。

<出力形式1>

加工賃支払額一覧表

依ＣＯ	依頼先名	製ＣＯ	製品名	製品原価	加工賃率	加工単価	数量	加工賃	諸経費	支払額	評価
(途中省略)											
――	合 計	――	――	――	――	――					――

<出力形式2>

	数量	加工賃	支払額
平 均			
最 大			
最 小			

第 1 4 0 回 (令和 7 年 2 月) 情報処理技能検定試験 (表計算) 2 級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

販C O	販売先名	商C O	販売数
101	山口総業	13	480
102	S F G物産	11	423
103	丸山商店	12	479
104	アケノ食品	15	471
105	信愛市場	14	432
106	佐々木商事	12	410
107	土屋水産	11	497
108	さくら青果	13	465
109	秋山商会	14	506

<商品テーブル>

商C O	商品名	原価
11	A商品	2,870
12	B商品	3,640
13	C商品	2,730
14	D商品	3,190
15	E商品	3,420

<定価の計算式>

原価	定価
3,100 以上	原価×1.28
それ以外	原価×1.29

※定価は整数未満切り捨て。

<値引率表>

販売数	値引率
480 以上	7.5%
460 以上 480 未満	6.7%
1 以上 460 未満	5.9%

<処理条件>

- <出力形式1>のような販売額一覧表を作成しなさい。(――の部分は空白とする)
- 商品名・原価は<商品テーブル>を表検索しなさい。
- 定価は<定価の計算式>を参照し、求めなさい。
販売額=定価×販売数
- 合計を求めなさい。
- <出力形式2>のような請求額一覧表を作成しなさい。(――の部分は空白とする)
- 販売数・販売額は販売額一覧表を表検索しなさい。
- 値引率は<値引率表>を参照し、求めなさい。(％の小数第1位までの表示とする)
値引額=販売額×値引率(整数未満切り上げ)
請求額=販売額-値引額
ポイント=請求額×1.2%(整数未満切り上げ)
- 販売数が480以上または請求額が190万以上に“**”、それ以外に“*”の判定をしなさい。
- 合計・平均(整数未満四捨五入の表示)を求めなさい。
- 値引額の昇順に並べ替えなさい。
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- 請求額一覧表の販売額と判定のセル証明をしなさい。
- 請求額一覧表の請求額の値を販売先名別の縦棒グラフにしなさい。
タイトルは“販売先別の請求額”とし、凡例は“請求額”とする。

<出力形式1>

販 売 額 一 覧 表

販C O	販売先名	商C O	商品名	原価	定価	販売数	販売額
(途 中 省 略)							
――	合 計	――	――	――	――		

<出力形式2>

請 求 額 一 覧 表

販C O	販売先名	販売数	販売額	値引率	値引額	請求額	ポイント	判定
(途 中 省 略)								
――	合 計			――				――
――	平 均			――				――

委託先名	販売数	手数料
関東商事		
山川HD		
井上商会		

第140回 (令和7年2月) 情報処理技能検定試験(表計算) 1級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

会CO	部CO	受注数	完成数
101B	11	1,546	1,462
101B	12	1,891	1,833
101B	13	1,535	1,511
102C	11	1,692	1,607
102C	12	1,521	1,514
102C	13	1,496	1,446
103B	11	1,505	1,470
103B	12	1,427	1,319
103B	13	1,538	1,500
104A	11	1,513	1,471
104A	12	1,282	1,272
104A	13	1,651	1,584

<会社テーブル>

会CO	会社名
101B	Wテクノ
102C	中村精密
103B	加藤工業
104A	青山製作

<部品テーブル>

部CO	部品名	加工賃単価
11	X部品	137
12	Y部品	129
13	Z部品	132

<運送費の計算式>

加工賃	運送費
20万以上	受注数×20.3
それ以外	受注数×18.2

※運送費は整数未満切り捨て。

<乗率テーブル>

区分	乗率
A	6.3%
B	5.7%
C	4.0%

※区分は会COの右から1文字目とする。

<判定表>

諸経費	完成数	
	1~1,499	1,500~
1以上 10,000未満	*	**
10,000以上	***	****

<処理条件>

- <出力形式1>のような加工賃請求額一覧表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
- 会社名、部品名はそれぞれ<会社テーブル>、<部品テーブル>を表検索しなさい。
- 加工賃=加工賃単価×完成数(100位未満切り捨て) ※加工賃単価は<部品テーブル>を参照する。
- 運送費は<運送費の計算式>を参照し、求めなさい。
- 乗率は<乗率テーブル>を参照し、求めなさい。(%の小数第1位までの表示とする)
諸経費=加工賃×乗率(10位未満四捨五入)
請求額=加工賃+運送費+諸経費
- 判定は<判定表>を参照し、求めなさい。
- 合計を求めなさい。
- <出力形式1>と同じ形式で、X部品以外で運送費が27,000以上を抽出しなさい。
表題は“加工賃請求額一覧表(X部品以外・運送費27,000円以上)”とし、受注数の降順に並べ替えなさい。
- 加工賃請求額一覧表を基に<出力形式2>のような処理をしなさい。
- 加工賃請求額一覧表を基に<出力形式3>のような処理をしなさい。(平均は整数未満四捨五入の表示とする)
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- <出力形式2>の加工賃・運送費・諸経費を会社名別の積み上げ横棒グラフにしなさい。
タイトルは“会社別の集計グラフ”とし、凡例は“加工賃”、“運送費”、“諸経費”とする。

<出力形式1>

加工賃請求額一覧表

会CO	会社名	部CO	部品名	受注数	完成数	加工賃	運送費	乗率	諸経費	請求額	判定
(途中省略)											
——	合 計	——	——					——			——

<出力形式2>

会社別集計表

会社名	加工賃	運送費	諸経費
Wテクノ			
中村精密			
加藤工業			
青山製作			

<出力形式3>

諸経費が11,000円未満の請求額の平均	
加藤工業以外で受注数が1,500以上の件数	
部品名がX部品またはZ部品の諸経費の合計	

第140回（令和7年2月）
情報処理技能検定試験（表計算）
初段 問題

試験時間	30分
------	-----

1. <入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成しなさい。
2. 表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
3. <出力形式>に「合計」「平均」などがある場合は、関数により処理を行うこと。ただし「——」部分は空白とする。
4. 表には罫線を引くこと。（罫線の太線と細線は区別する。外枠は太線とする。）
5. 使用したテーブルの表の形式は問わない。
6. [] 内文字はシート名とする。テーブルや作成する表にシート名があるものは、それぞれこのシート名でシートを作成し、処理を行うこと。
(例 <出力形式1> [前期]・[中期]・[後期] →前期、中期、後期の各シートを作成し、それぞれ指示された表を作成する。)
7. 作成したデータは事前に準備したファイル（初段・受験番号・名前）に上書き保存する。
(例：初段101日検太郎)

問 題

<入力データ>※テキストデータは SPS フォルダ内 のデータを使用する。

〔仕入データ表〕

(2 4 件)

仕入日	商 C O	仕入数	仕入価額
2025/1/4	101	166	231,680
2025/1/4	102	183	222,250
2025/1/5	103	106	149,450
2025/1/5	201	124	170,500
2025/1/6	202	173	212,400

: : : :

2025/1/20	102	142	160,490
2025/1/23	103	151	140,680
2025/1/23	201	143	213,640
2025/1/25	202	136	130,990
2025/1/26	203	86	111,510

〔販売データ表〕

(3 0 件)

販売日	販 C O	商 C O	販売数
2025/1/5	22	103	58
2025/1/6	11	201	109
2025/1/7	13	102	151
2025/1/9	12	203	52
2025/1/11	21	103	49

: : : :

2025/1/28	12	201	54
2025/1/29	22	101	128
2025/1/30	13	102	62
2025/1/31	12	103	107
2025/1/31	21	101	62

<乗率表>〔テーブル〕

商 C O	仕入数		
	1～99	100～149	150～
100 番台	7.2%	7.4%	7.6%
200 番台	5.8%	6.2%	6.6%

<販売先テーブル>〔テーブル〕

販 C O	販売先名
11	J P 物産
12	大月商事
13	東ストア
21	フジ総業
22	加藤商店

<商品テーブル>〔テーブル〕

商 C O	商品	定価	期首在庫数
101	A	2,290	65
102	B	2,560	55
103	C	1,940	69
201	D	1,690	67
202	E	3,100	46
203	F	2,480	40

<割引率テーブル>〔テーブル〕

区分	割引率
1	9.3%
2	8.5%
3	7.7%

※区分は販 C O の 1 の位。

<処理条件>

1. <入力データ> (テキストデータ、日本語シフト J I S、C S V 形式)、<乗率表>を使用し、<出力形式 1>のような表を作成。 ※日付の表示は<入力データ>のとおりとする。

<出力形式 1>〔仕入データ表〕

仕入日	商 C O	仕入数	仕入価額	仕入諸掛	仕入額
(途 中 省 略)					

- 1) 仕入諸掛 = 仕入価額 × 乗率 (100 位未満切り上げ)
- 2) 仕入額 = 仕入価額 + 仕入諸掛

2. <入力データ> (テキストデータ、日本語シフト J I S、C S V 形式)、<販売先テーブル>、<商品テーブル>、<割引率テーブル>を使用し、<出力形式 2>のような表を作成。 ※日付の表示は<入力データ>のとおりとする。

<出力形式 2>〔販売データ表〕

販売日	販 C O	販売先名	商 C O	販売数	売価
(途 中 省 略)					
—	—	合 計	—		—

- 1) 販売先名は<販売先テーブル>を表検索。
- 2) 売価 = 定価 × (1 - 割引率) (10 位未満切り捨て)

3. <出力形式1>、<出力形式2>、<商品テーブル>を基に、<出力形式3>のような表を作成。

<出力形式3> [計算表]

商 品 別 総 括 表							
商C O	商品名	仕入数	仕入額	販売数	期末在庫数	在庫評価額	判定
(途 中 省 略)							
——	合 計						——

- 1) 商品名は、“商品”の文字と<商品テーブル>の商品を関数または演算子を使用して結合。(例 商品A)
- 2) 仕入数・仕入額・販売数は基表の同項目の値を集計。
- 3) 期末在庫数＝期首在庫数＋仕入数－販売数
- 4) 在庫評価額＝仕入額÷仕入数×期末在庫数(整数未満切り捨て)
- 5) 在庫評価額が在庫評価額の平均以上に“*”の判定をする。

4. <出力形式2>、<販売先テーブル>を基に、<出力形式4>のような表を作成。

<出力形式4> [計算表]

販売先別計算表				
販C O	販売先名	販売額	諸経費	請求額
(途 中 省 略)				
——	合 計			

- 1) 販売先名は<販売先テーブル>を表検索。
- 2) 販売額＝売価×販売数 ※基表の同項目の値を計算後、集計する。
- 3) 諸経費は<諸経費の計算式>を参照し求める。

<諸経費の計算式>

販売額	諸経費
125 万以上	販売額×1.7%
それ以外	販売額×1.4%

※諸経費は10 位未満四捨五入。

- 4) 請求額＝販売額＋諸経費
5. <出力形式3>を基にグラフを[計算表]シートに作成。
- 1) グラフの種類は、商品名別の仕入数を折れ線、仕入額を縦棒にした複合グラフ。
 - 2) グラフタイトル、凡例は以下のとおりにする。

